

■■■ 作り方の補足 ■■■

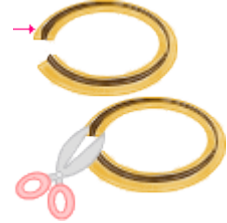


□ バームクーヘンの表面の縫い方（模様をつなげ方）について

最初に表面①に飾り（こげ茶 5mm 幅）と表面②を重ねて、3 枚と一緒に
ブランケット+なみ縫い往復で縫い合わせます。
重ねる時は表面①と表面②は中表になるので、図のような配置になります。

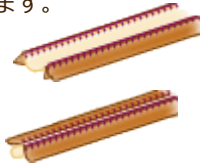


縫い合わせたら表側にして、飛び出ている飾り（こげ茶 5mm 幅）をはさみで切り揃えます。
次に縫い合わせた表面②に飾り（こげ茶 5mm 幅）と表面③を重ねて、
同じように 3 枚一緒にブランケット+なみ縫い往復で縫い合わせます。
表側にして飛び出ている飾り（こげ茶 5mm 幅）を切り揃えます。
同じように表面⑥まで縫い合わせます。



□ マカロンのクリーム側面の縫い方について

クリームに側面①と側面②を重ねて、3 枚一緒にブランケット+なみ縫い往復で縫い合わせます。
反対側のクリームの端にも同じように側面①と②を縫い合わせます。

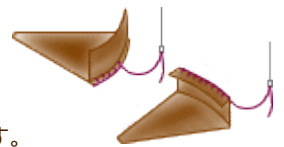


クリームの両側の縫い目を引き寄せて縫い合わせます。（表面のクリームが丸く縮まった状態になります）

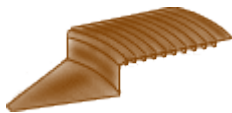


□ アップルパイの側面の縫い方について

土台に側面①を中表でブランケット+なみ縫い往復で縫い合わせます。
次に縫い合わせた側面①に中表で枠をブランケット+なみ縫い往復で縫い合わせます。

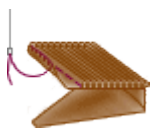


枠に側面②の 9 枚を 1 枚ずつブランケット+なみ縫い往復で縫い合わせます。
最後に側面③（1.2cm）を同じように縫い合わせます。



土台+側面①+枠+側面②9 枚+側面③1 枚を縫い合わせた状態です。

枠を含めた縫い目に針を通して、糸を引っばって縮めます。
ここの糸の引っばり加減が難しいのですが、糸の引っばりがゆるいと側面④の形に合いません。
側面④に合わせながら、糸を引っばります。



側面③（1.2cm）のフェルトの端を半分上に折って、すぐ上の縫い目にブランケットステッチで縫い付けます。

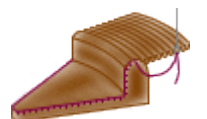
側面④をブランケットステッチで縫い合わせます。

・・・この後は、綿押さえを普通にブランケットステッチで縫い合せて綿を詰めます。

縫い終わったら綿の膨らみを押さえるために、なみ縫いして（表面から底まで貫通させながら）形を整えます。

側面④の飛び出ている部分に綿を軽く詰めてから、綿押さえをはめます。

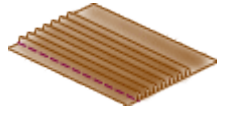
土台と綿押さえをバックステッチで縫い合わせ、最後に底をブランケットステッチで縫い合わせます。





□ バナナ/フルーツ/マスカッタルトの側面の縫い方について

側面①の 5mm 間隔のラインを順番に線と線を合わせて返し縫いしていきます。

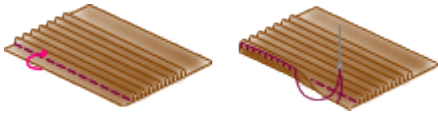
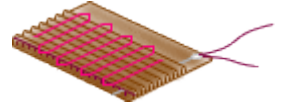


(裏の状態)

返し縫いした縫い目の部分を図のように針を通します。

ここの糸の引っぱり加減が難しいのですが、糸の引っぱりがゆるいと側面②の形に合いません。

側面②に合わせながら、糸を引っぱります。

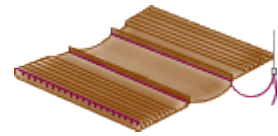


返し縫いが終わったら、側面①の 0.7cm 幅のフェルトを半分上に折ります。

すぐ上の返し縫いした縫い目の部分に 0.7cm 幅のフェルトの端を縫いつけていきます。

(裏の状態)

土台の両側に中表で側面①をブランケット+なみ縫い往復で縫い合わせます。



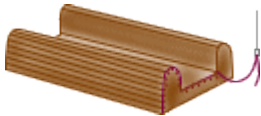
⑤の側面①+土台+側面①の両側に側面②をブランケットステッチで縫い合わせます。

・・・この後は、綿押さえを普通にブランケットステッチで縫い合せて綿を詰めます。

縫い終わったら綿の膨らみを押さえるために、なみ縫いして(表面から底まで貫通させながら)形を整えます。

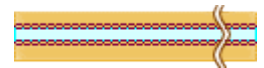
側面②の飛び出ている部分に綿を軽く詰めてから、綿押さえをはめます。

土台と綿押さえをバックステッチで縫い合わせ、最後に底をブランケットステッチで縫い合わせます。



□ バナナ/フルーツ/マスカッタルトのクリームの縫い方について

クリーム②③④を中表で 1 枚ずつブランケット+なみ縫い往復で縫い合わせます。



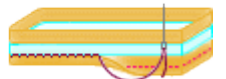
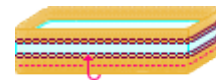
(裏の状態)

縫い合わせたクリーム②③④を輪に縫い合わせます。

(裏の状態)

クリーム④ (1.5cm 幅) の端を半分上に折ります。

すぐ上の縫い目に半分にしたクリーム④の端をブランケットステッチで縫い合わせます。



(裏の状態)

クリーム②側にクリーム①を中表でブランケット+なみ縫い往復で縫い合わせます。



表に返します。

・・・この後は、綿押さえを普通にブランケットステッチで縫い合せて綿を詰めます。

縫い終わったら綿の膨らみを押さえるために、なみ縫いして(表面から底まで貫通させながら)形を整えます。

表に返したクリームに綿押さえを入れて、最後に底(もう 1 枚のクリーム①)をブランケットステッチで縫い合わせます。





□ ソフトクリームの縫い方について

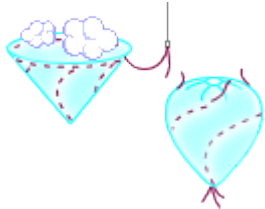
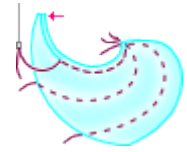
白いソフトクリームを作る場合は縫い位置ラインを直接書いてしまうと見えてしまうので
1本取りの糸で縫い位置ラインを仮縫いしておきます。

糸は後で抜きながら作業するので、玉止めせず何cmか余分に残して切ります。



中心から半分折って（ピンク矢印）返し縫いで縫い合わせます。

フェルトの端（ブルーの矢印）を合わせながら縫っていかないと、綺麗にフェルトの端同士が
合わないで注意して縫って行ってください。



表に返して、周りをぐし縫いします。

（表にひっくり返す時は、ピンセットの先等を使って先をキッチリ出します。）

綿を詰めたら糸を引っばって、ゆるまないようにもう1周縫ってから玉止めします。

2本取りの糸でソフトクリーム底から針を刺して、ソフトクリーム表面の縫い位置に出します。

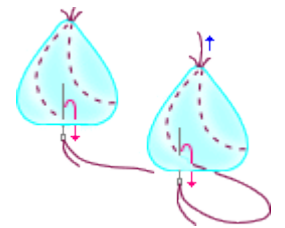
バックステッチなので矢印のように戻って、ソフトクリーム表面から底に針を抜きます。（左側の図）

1目バックステッチしたら、上に出ている仮縫いの糸を少しずつ抜いていきます。

糸は引っばった状態で次のバックステッチを縫います。

必ずソフトクリーム表面から底まで針を刺して作業してください。

※表面だけにバックステッチをしても、ソフトクリームの渦巻き感は出ません。※



それぞれの縫い位置ラインを3/4までバックステッチで縫っていきます。

3/4まで縫うと右側の図のようになります。

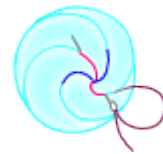
残りの1/4の縫い位置ラインの対角線同士をバックステッチで縫います。

（図のようにピンク線同士にブルーの線同士になります。）

ここも糸を引っばりながら縫います。

糸を引っばる事によってソフトクリームの先の方がとがった感じに仕上がります。

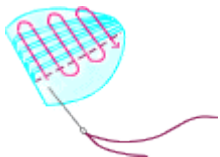
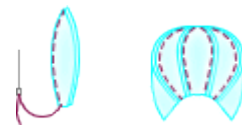
・・・この後は、底をたてまつり又はブランケットステッチで縫い合わせます。



□ 生クリームの縫い方について

生クリームを1枚ずつ返し縫いで縫い合わせます。

5枚縫い合わせて1枚の生クリームフェルトにします。



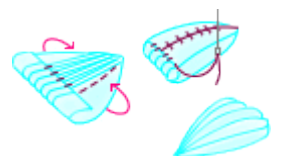
裏の状態でも返し縫いした縫い目4本に針を通して、糸を引っばります。

糸を引っばる事によって表面の生クリームのラインが立体的になります。

生クリームの幅広の方を1/3ほど中側に折って、②で寄せて縫った返し縫いの部分に縫います。

矢印のように両側のフェルトの端を合わせてブランケットステッチで縫い合わせます。

折り込んだ部分も出てこないようにしっかり縫いつけます。





□ プチフルのタルトの縫い方について

タルトを2枚重ねて、ブランケットステッチで縫い合わせます。



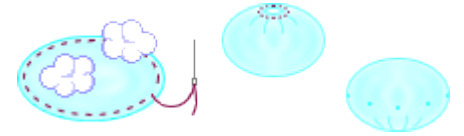
クリーム②の周りをぐし縫いします。

綿を詰めて糸を引っ張り、ゆるまないようにもう1周位縫ってから玉止めします。

次の作業をやりやすくする為に・・・10等分の印を書きます。

印はタルトを縫いつけた時、表面に見えてはいけなないので少し下気味に書きます。

タルトの印とクリーム②の印を合わせて縫うと、均等な「ひだ」になります。

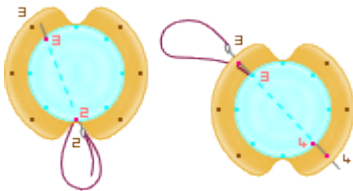
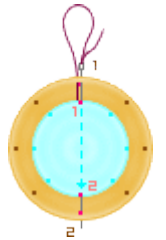


タルトの中心にクリーム②を置いた状態です。

クリーム②の底から針を刺して、クリーム②の「1」印に出します。

その針をタルトの「1」印に刺して外側に引き出し、1mm位あけて同じ「1」印を

外側から内側の印→クリーム②の「1」印→対角線上のクリーム②の「2」印を通して、タルトの「2」印・・・と、クリームの中に通しながら、印と印を縫っていきます。



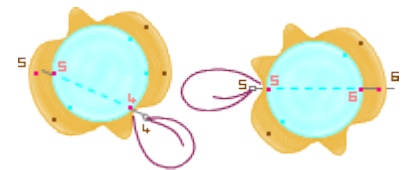
タルトの「2」印とクリーム②の「2」印からクリーム②の「3」印を通して、タルトの「3」印に出します。

タルトの「3」印からクリーム②の「3」印を通して、対角線上のクリーム②の「4」印とタルトの「4」印に針を通します。

タルトの「4」印とクリーム②の「4」印からクリーム②の「5」印を通して、タルトの「5」印に出します。

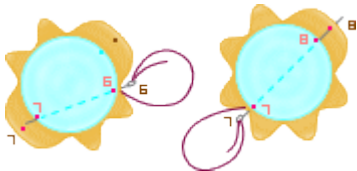
タルトの「5」印からクリーム②の「5」印を通して、

対角線上のクリーム②の「6」印とタルトの「6」印に針を通します。



タルトの「6」印とクリーム②の「6」印からクリーム②の「7」印を通して、タルトの「7」印に出します。

タルトの「7」印からクリーム②の「8」印を通して、対角線上のクリーム②の「8」印とタルトの「8」印に針を通します。

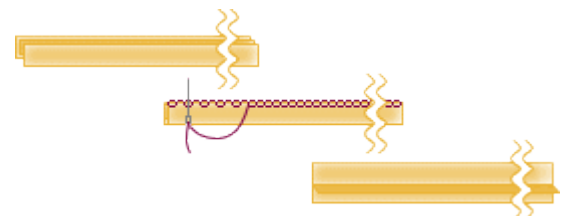


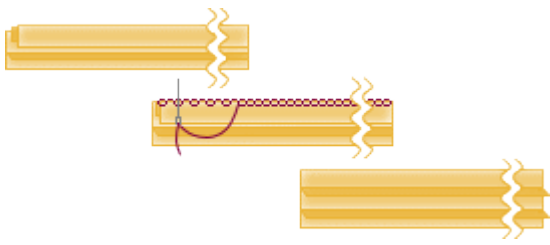
タルトの「8」印からクリーム②の「8」印を刺してからクリーム②の中心に針を出して玉止めします。



□ ミルフィーユのパイの縫い方について

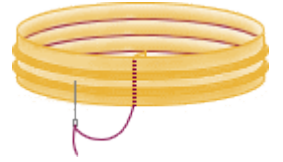
パイ側面①の片側にパイ側面②(0.5cm)とパイ側面①の順に重ねて3枚一緒にブランケット+なみ縫い往復で縫い合わせていきます。





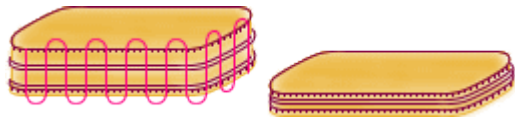
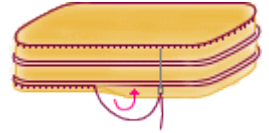
フェルトを開いてもう片方に同じようにパイ側面②(0.5cm)とパイ側面①を重ねて3枚一緒にブランケット+なみ縫い往復で縫い合わせます。
縫い終わった感じは3枚のパイ側面①の縫い目部分2箇所側に側面②が飛び出てる感じになります。

輪にした状態が20cmになるようにフェルトを重ねて、たてまつりで輪に縫い合わせます。



裏の状態では片方のパイ側面①のふちに、パイ①をブランケット+なみ縫い往復で縫い合わせます。
(中表の状態になります)

反対側のパイ側面①の淵部分を半分上に折ってすぐ上の縫い目に縫い合わせます。



そのまま裏の状態では、パイ①の縫い目を含む全ての縫い目に針を通して縫い縮めます。
そうすると下図のように縮んだ状態になります。

表に戻します。

綿を詰めて、もう1枚のパイ①をブランケットステッチで縫い合わせます。

同じものを3個作ります。

カスタードは周りをぐし縫いで綿を軽く詰めます。

パイの上にカスタードを置いて縫いつけ、その上にパイを置いて縫いつけの繰り返しをします。



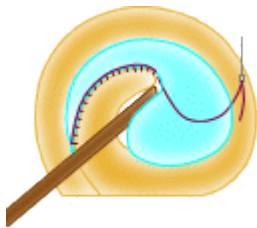
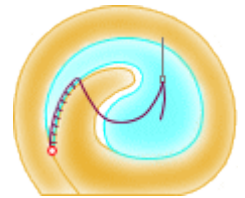
□ ロールケーキのクリームの縫い方について

スポンジ①のくり貫き部分にスポンジ②をブランケット+なみ縫い往復で縫い合わせます。
赤丸が縫い始めになります。

返し縫いでも可能かと思いますが、

フェルトに対して直角に針を刺せないでフェルト同士が縫っていくとずれるかもしれません。

面倒くさいかもしれませんが、ブランケット+なみ縫い往復の縫い方のほうをオススメします。



クリームの急カーブ部分にきたら、スポンジ③(0.5cm)をはさみながら同じようにブランケット+なみ縫い往復で最後まで縫い合わせていきます。
スポンジ③はスポンジ①の底に合わせて切ってください！

表側にして、飛び出ているスポンジ③をはさみで表面に沿って切りそろえます。

あまりギリギリに切ってしまうと、中の縫い目が見えてしまうので、1mm位余裕見て切ってみてください。

もう1枚「逆向き」で同じように作ります。

あとは、側面①を底になる部分を残して中表でブランケット+なみ縫い往復で縫い合わせて表に戻します。

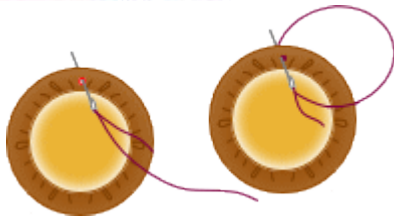
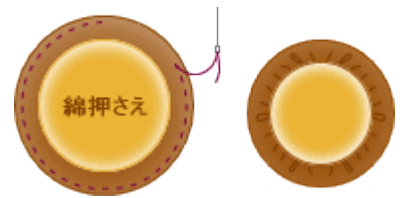
綿を詰めて、底部分をブランケットステッチで縫い合わせます。





□ サンドクッキーの縫い方について

サンドクッキー①の周りをぐし縫いして、中心に綿押さえ①を置きます。
綿押さえの大きさまで糸を引っぱり玉止めします。



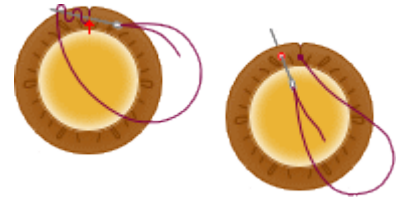
サンドクッキー①の裏（ふちから 3mm位内側部分）から表側に針を刺します。
表から出た針&糸をもう 1 度サンドクッキー①の裏から同じ針穴に刺します。
(糸は引っぱった状態です)

2 度目の表からの針&糸を裏側の針穴近くのフェルトをほんの少しすくって
糸はひっぱったまま玉止めをします。

玉止めした糸は切らずに、そのまま次の位置に移動します。

こんな感じでサンドクッキー①のふちを縫っていきます。

同じものを 2 枚作ります。



クリームは周りをぐし縫いして、中心に綿押さえを置きます。

綿押さえの大きさまで糸を引っぱって、玉止めをします。

1 枚のサンドクッキー①の裏からフレンチノットステッチをする位置に針を刺します。

1 本取りで 4 回巻きのフレンチノットステッチを縫ったら裏側にクリームともう 1 枚のサンドクッキー①を重ねます。

反対側のサンドクッキー①のフレンチノットステッチをする位置まで針を刺します。

表側を縫ったら裏側へ・・・と 3 枚を一緒に縫います。